

令和4年度 維持管理状況(8月1日～31日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突)(O ₂ 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去		
	t/日			t	℃	℃	ppm			
有明	400	1号炉	可 燃 ご み	5,736.85	943 ~ 1,087	173 ~ 174	3~25	ボイラ設備の除じんはボイラストブロウ又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。		
		2号炉		2,148.65	1,016 ~ 1,135	171 ~ 174	5~26			
千歳	600	1号炉		9,337.90	948 ~ 1,181	159 ~ 166	7~15			
墨田	600	1号炉		13,696.52	997 ~ 1,164	164 ~ 166	0~3			
北	600	1号炉		13,580.62	955 ~ 1,082	154 ~ 169	1~18			
新江東	1,800	1号炉		定期点検補修						
		2号炉		5,018.95	911 ~ 1,147	175 ~ 178	0~6			
		3号炉		定期点検補修						
港	900	1号炉		延命化工事						
		2号炉		8,239.03	1,003 ~ 1,335	167 ~ 170	0~149*③			
		3号炉		7,945.43	887 ~ 1,340	159 ~ 169	0~98			
豊島	400	1号炉		4,788.30	868 ~ 923	162 ~ 164	3~63			
		2号炉		4,843.99	869 ~ 925	160 ~ 162	1~36			
渋谷	200	1号炉		2,213.57	886 ~ 996	145 ~ 156	0~125*②			
中央	600	1号炉		8,705.40	884 ~ 1,064	148 ~ 152	2~24			
		2号炉		8,779.54	934 ~ 1,044	148 ~ 153	0~18			
板橋	600	1号炉		2,345.73	1,020 ~ 1,196	158 ~ 165	0~3			
		2号炉		定期点検補修						
多摩川	300	1号炉		4,016.74	904 ~ 1,017	155	1~5			
		2号炉		3,218.00	898 ~ 997	153 ~ 178	0~5			
足立	700	1号炉		8,644.59	899 ~ 1,008	172 ~ 173	1~22			
		2号炉		8,520.96	911 ~ 1,019	172 ~ 174	1~6			
品川	600	1号炉		568.84	935 ~ 1,004	175	0~1			
		2号炉		2,802.29	951 ~ 1,132	174 ~ 177	0~28			
葛飾	500	1号炉		6,628.76	961 ~ 1,091	151 ~ 169	1~17			
		2号炉	5,985.59	957 ~ 1,128	159 ~ 169	2~31				
世田谷	300	1号炉	476.05	921 ~ 1,000	167 ~ 175	0~105*①				
		2号炉	3,272.88	898 ~ 970	168 ~ 183	0~53				
大田 新	600	1号炉	9,000.75	854 ~ 1,023	155 ~ 170	3~32				
		2号炉	7,859.82	866 ~ 1,064	153 ~ 166	3~38				
第一	200	3号炉	3,189.63	851 ~ 948	164 ~ 166	3~23				
練馬	500	1号炉	7,587.73	919 ~ 1,043	157 ~ 173	1~29				
		2号炉	5,925.56	882 ~ 1,032	160 ~ 175	1~26				
杉並	600	1号炉	7,599.28	912 ~ 1,021	156 ~ 172	0~14				
		2号炉	7,131.62	918 ~ 1,009	154 ~ 164	0~22				
光が丘	300	1号炉	4,003.73	948 ~ 1,046	153 ~ 169	2~22				
		2号炉	1,479.75	945 ~ 1,039	153 ~ 174	3~12				

注: 大田清掃工場 第一工場1、2号炉、中防灰溶融施設、破砕ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した理由(※)

<逸脱理由>

※① 世田谷清掃工場 1号炉 令和4年8月2日(火) 14:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で105ppmを記録した。

破碎ごみ供給装置のレベルセンサに誤検知があり、ごみ枯れの状態になり、

さらに、その後のごみ供給が急速だったため過燃焼となったことによる。

助燃バーナ使用及び破碎ごみ供給装置のレベルセンサに誤検知がないか確認できるよう

ITVの監視窓を清掃した。その後は燃焼が安定した。

※② 渋谷清掃工場 1号炉 令和4年8月16日(火) 14:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で125ppmを記録した。

給じん装置の不具合により適正なごみ供給が不可能となったことによる。

直ちに燃焼空気量の手動介入、助燃、再燃バーナの運転及び給じん装置の調査を図り、

正常な燃焼状態に回復した。

※③ 港清掃工場 2号炉 令和4年8月20日(土) 20:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で149ppmを記録した。

ごみホツパにおいてごみの滑りが発生し、一時的に焼却炉へのごみ投入量が過剰になったことによる。

助燃バーナの使用、フィーダ、ストーカ及び燃焼空気量の調整等により、燃焼の

安定化を図り、その後は燃焼が安定した。

令和4年度 維持管理状況(8月1日～31日) <工場設置計器の測定結果>より